௵nt.Cl. H 01 c

69日本分類 59 D112

612.455.3801

日本国特許庁

卯実用新案出願公告 昭47-27876

⑩寒用新霖公報

❷公告 昭和47年(1972)8月24日

(全2頁)

30小型被膜抵抗器

勿実 顧 昭44-96686

昭44(1969) 10月11日 駔 御田

伪考 租女川伯

> 蓝崎市藍崎町154富士産業株式 会社内

切出 顧 人 富士産業株式会社 韭崎市韮崎町154

代 瓘 人 弁理士 田中正治

図面の簡単な説明

第1図は本考案に依る小型被膜抵抗器の一例を 示す平面図、第2図はそのII-II線上の断面図で ある..

考案の詳細な説明

本考案は絶縁基板の上面全域に亙つて抵抗層が 被着され、この抵抗層の両側部上に夫々電極層が 附され、更にこれ等電極層上に夫々半田層が附さ 効面積を大としてこれへの外部連結が容易になし 得る様になし、然し乍ら半田層の有効面積從つて 電極層の有効面積が大となつても限られた面積の 絶縁基板の上面上での抵抗層の有効面積を減少せ 様にしたものである。

以下図面について本考案の一例につき群迹する に、】はセラミツク、ガラス等にて製出された方 形の絶縁基板で、その上面の全域に亙り、抵抗層 されている。

而してこの抵抗層 2上にその長手方向の両端よ り夫々所要の長さDiを採つた位置迄の間の両側 部を除いて絶縁保護層8が同様に印刷焼付手段に より又は蒸落手段により被着され、又絶縁保護層 8の存せざる抵抗層2の両側部上に、抵抗層2の 長手方向の両端より夫々所要の長さ D。(D.>

D:) を採つた位置迄の絶縁保護層 3の両側部上 に連続延長して電極層4a及4bが夫々同様に印 刷焼付け又は蒸着手段により附され、更に電極層 4 a 及 4 b 上に失々の全域に亙つて半田層 5 a 及.

2

5 5 bが夫々附されている。

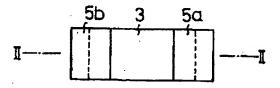
上述の構成に依れば、抵抗層2の長手方向にみ てその両側部上に失々電極層 4.a 及 4 b 上に附さ れた半田暦5a及5bを有し、前して抵抗暦2の 両電極層4a及4b間は絶縁保護層 8にて保護さ 10 れているので、長期の使用に亙つて安定な斯種抵 抗器を提供する事が出来るものであるが、特に本 考案に依れば中田暦5 a及5 bが夫々電極暦4 a 及4b上に附され、而してその電極層4a及4b が絶縁保護層 3の両側部上に迄延長しているので js 電極層 4 a 及 4 b 従つて半田層 5 a 及 5 b の有効 面積が大きく、従つて全体を、その半田暦5a及 5 bの上面を下として印刷配線基板上の配線上に 対接して、載置し、然る後熱処理して印刷配線基 板上の配線上に連結するにつき便であり、然し乍 れてなる小型被膜抵抗器に関し、特に半田層の有 20 ら抵抗層 2 の有効面積は電極層 4 a 及 4 b の内側 緑間距離より大なる絶縁保護層3の外側縁間距離 を有し、従つて限られた面積を有する格縁基板! 上での抵抗層2の有効面積が、電極層4a及4b 上の半田層5a及5bの面積が増大せる構成であ しめることなからしめ大なる負荷電力が得られる 25 るにも拘らず減少することなく大なる負荷電力を 得ることが出来るものである。又電極層 4 a 及 4 b上に夫々半田暦5 a及5 bが附されているので これをして上述せる如く直ちに印刷配線基板上の 配絃上への連結をなし得、この場合別途半田を用 2が印刷焼付手段により又は蒸着手段により被着 30 意しなければならない不便は何等ないものである 実用新業登録請求の範囲

絶縁基板の上面全域に亙り抵抗層が被着され、 該抵抗層上にその両側部を除いて絶縁保護層が被 着され、上記絶縁保護層の存せざる位置上に失々 35 電極層が被着され、該電極層が上記絶縁保護層の 両側部上に延長され、上配電極層上に夫々半田層 が附されてなる小型被膜抵抗器。

612.455.3801

(2)

第1図



第2図

